

図書館だより

推薦図書コーナー～新入生へ向けて～

この「図書館だより」では、年間ベストリーダー表彰をはじめ、ビブリオバトル、サイエンスカフェ、選書ツアーといった図書館の活動等を周知するとともに、当館の最たる利用者である本学在学生に読んでほしい本を、本学教養教育部教授・2021年度図書館運営委員である小古間甚一先生よりご紹介いただく『推薦図書コーナー』を毎号掲載してきました。

今号では、この春新たに本学の一員となる新入生に特にお薦めしたい本を、小古間先生含む2021年度図書館運営委員の皆様よりご紹介いただきました。学習の助けとしては勿論、知識・教養を深める手段として、この機会には是非ご活用ください。

安藤 千晶 先生 (看護学科准教授) 推薦図書

『日野原先生から看護をこころざす人に贈る35のメッセージ』

日野原重明著、徳永恵子編 日本看護協会出版会 1,320円(税込)【当館所蔵有: N049/T】

◆安藤先生より◆

本書は2017年に他界された日野原重明先生のご講演(ご自身のエピソードや医療に対する考え方)をまとめた本です。お亡くなりになる数ヶ月前まで、105歳でありますながら患者様を診続けていらっしゃいました。看護師を厳しくも暖かく叱咤激励しながら、看護師以外の医療関係者でない方がお読みになっても日野原先生の人生哲学がよく理解できる本だと思います。



黄 京性 先生 (社会福祉学科教授) 推薦図書

『実存と構造』

三田誠広著 集英社 770円(税込)【当館所蔵有: B904/M】

◆黄先生より◆

20世紀の2大哲学と言われる実存主義と構造主義、この2つの哲学は、現代のあらゆる学問フィールドに大きな影響を及ぼしている。2つの哲学の理解を進めていくことは、高度で実践的な専門性を身につける必要がある看護、福祉、栄養、保育を学ぶ学生にも必須条件と言えるであろう。この本は短時間で実存と構造のエッセンスを理解できる優れものである。是非手に取って欲しい。



泉 史郎 先生 (栄養学科助教) 推薦図書

『臨床栄養学者中村丁次が紐解くジャパン・ニュートリション 日本の栄養の過去・現在、さらに未来に向けて』

中村丁次著 第一出版 2,750円(税込)【当館所蔵有: 498.55/N】

◆泉先生より◆

現代栄養学の歴史と変遷に加え、これからの管理栄養士が果たすべき役割と未来について理解が深まる同時に、この先栄養学を学んで管理栄養士として勤めることに誇りと自信、希望が持てると思います。



藤川 雅人 先生 (社会保育学科准教授) 推薦図書

『くれよんのくろくん』

なかやみわ さく・え 童心社 1,320円(税込)【当館所蔵有: JE/N】

◆藤川先生より◆

社会保育学科では、絵本を基にした講義や実践があります。

「くれよんのくろくん」には、クレヨンの色にはそれぞれ価値があることが描かれています。子どもにも一人一人の個性や役割があり、多様性が大切であることを教えてくれる絵本です。



小古間 甚一 先生 (教養教育部教授) 推薦図書

『新装版 日本語の作文技術』

本多勝一著 講談社 1,540円(税込)【当館所蔵有: 816/H】

◆小古間先生より◆

日本語の書き方が学べる最高の一冊。新聞記者だった本多勝一が「読む側にとってわかりやすい文章」の書き方を、事例を示しながら伝授してくれます。文庫版(朝日文庫)もありますが、内容をよりコンパクトにまとめた「新装版」のほうをお薦めします。



『知的複眼思考法 誰でも持っている創造力のスイッチ』

苅谷剛彦著 講談社 968円(税込)【当館所蔵有: B141.5/K】

◆小古間先生より◆

本書のキーワード「複眼的思考法」について、「ステレオタイプから抜け出して、それを相対化する視点をもつことが重要です。複眼的思考とは、複数の視点を自由に行き来することで、一つの視点にとらわれない相対的思考法」と説明されています。さらに本書には「創造的読書」「考えるための作文技法」「問い合わせの立て方と展開の仕方」など大学で学習するうえで必要なノウハウが詰まっています。大学での学びに役立つ1冊です。ぜひ一読を。

